

## キトラ古墳における新たな壁画保存措置の 進捗状況と今後の予定について

### (1) 現在の進捗状況

○3月11日(水) 定期点検

石室内に殺菌灯を設置し、1日に1時間程度、紫外線を壁面に照射し、生物制御を図っている。



殺菌灯を設置した石室内の状況

○3月19日(木) 定期点検

目立ったカビ等の存在は確認されなかった。

また、次亜塩素酸ナトリウム溶液による壁面の薬剤処置を行うとともに、今後の定期点検において、人が石室内に入らなくても小前室から石室内の観察ができるよう、石室の蓋をアクリル製の透明なものに付け替えた。



石室の蓋(変更前)



石室の蓋(変更後)

○3月27日（金） 定期点検

小前室から透明な蓋越しに石室内を観察することとしていたが、透明な蓋の内側に結露が見られ、石室内の観察ができなかったため、蓋をあけ、小前室から覗き込む形で石室内を観察した。

その結果、東壁南側（絵が描かれていない泥に覆われた部分）に以前から存在していたゲル中にカビらしき黒い物質が確認された。

○4月3日（金） 定期点検

3月27日（金）の定期点検において確認された、黒い物質について、次亜塩素酸ナトリウム溶液を浸した紙を湿布して、1時間後に取り除いた結果、ほぼ除去できた。

透明な蓋の結露に対しては、石室の外側から断熱材をあてて対策を講じた。



処置前



処置後

○4月10日（金） 定期点検

透明な蓋に結露は見られなかったため、透明な蓋越しに石室内の観察を行ったところ、小前室からの目視による限りでは、カビらしきものの存在は確認されなかった。

○4月17日（金） 定期点検

透明な蓋越しに石室内の観察を行ったところ、小前室からの目視による限りでは、カビらしきものの存在は確認されなかった。

○4月24日（金） 定期点検

透明な蓋越しに石室内の観察を行ったところ、小前室からの目視による限りでは、カビらしきものの存在は確認されなかった。

○5月1日（金） 定期点検予定

## （2）今後の予定

これまでの定期点検の結果を踏まえ、石室内環境が比較的落ち着いている期間であり、作業者の確保が可能な5月から6月にかけて、集中的に壁画の取り外しを行う予定。

### <スケジュール案>

期 間：5月11日（月）～6月5日（金）

1 週 間 の 流 れ：月曜日AM 点検、準備

月曜日PM～金曜日AM 取り外し

金曜日PM 点検、片付け

取り外し予定箇所：天井のうち天文図が描かれていた中央2石分の余白漆喰

※ただし、壁画の状況次第で側壁の取り外しを行うこともありうる。

取 り 外 し 方 法：へらとダイヤモンドワイヤ・ソー等による剥ぎ取り

取 り 外 し 手 順：漆喰の状況を見ながら、既存のひび割れ等に沿ってダイヤモンドワイヤ・ソーを通すための道をへらで取り外し、ある程度の面積をワイヤ・ソーで取り外す予定

※期間中、土曜日・日曜日は作業を行わない。ただし、金曜日の作業終了時に殺菌灯を入れて土曜日・日曜日に1時間程度の紫外線照射を行う。